

令和7年度 学校評価（職員・保護者）の結果から

佐倉市立井野中学校 A-②

教職員自己評価

保護者アンケート 12月16日（火）～12月19日（金）
保護者アンケート 12月12日（金）～12月14日（日）
保護者アンケート回答率 72.8%

教職員・保護者共通の項目について

○肯定的な割合(そう思う・ややそう思う)において、昨年度と比べ保護者の評価があがった項目

項目 5：学校は、各種たよりやホームページ・配信メール等を通して、学校からのメッセージや生徒の様子などをよく伝えている。

項目 12：学校は、生徒の頑張りに目を向け、生徒の自己存在感が高められるよう、率先してプラスの評価を伝えている。

○肯定的な割合(そう思う・ややそう思う)において、昨年度と比べ職員の評価があがった項目

項目 6：生徒が安心して生活できる場・安全な場として、ふさわしい環境づくり（施設・設備の充実）に努めている。

項目 9：登下校の安全や交通ルール・公共の場でのマナーに関する指導を十分行っている。

項目 13：進路に関しての学習や情報提供を通して、生徒・保護者の進路に対する意識の高揚に努めている。

項目 17：生徒の学習意欲が高められるよう、わかりやすく工夫された授業を展開している。

項目 23：PTA活動の見直しが図られる中、工夫された形で活動が行われており、PTAだより等で活動内容も適宜各家庭に伝えられている。

●職員と保護者で、評価(そう思う・ややそう思う)に特に大きな隔たりがあった項目

項目 8：学校は、生徒の実態をよくつかみ、いじめや暴力のない集団づくりに努めている。
【職員：100% 保護者76.6%】

●職員と保護者で、否定的な評価(あまりそう思わない・そう思わない)が共通していた項目

項目 19：基礎的・基本的な知識・技能を定着させるために、ドリル学習や家庭学習の習慣化に努めている。

項目 20：学校は、学んだ知識・技能を活用する能力が高められるよう、発展的内容の効果的な指導に努めている。

次年度に向けての改善点

保護者の評価は「ケガや事故、様々な問題についてのスピード感」や「生徒の健康維持増進」「学習規律の指導」に関する項目が高い反面、「きめ細かい学習指導」や「基礎的・基本的な知識技能の定着」等の項目については職員・保護者共に評価が低い傾向にある。この評価結果から保護者の関心は学習面が中心であり、基本的な学習の積み重ねとていねいな学習指導を学校に求めていることがわかる。教師側は家庭学習の習慣化を課題に挙げており、教師自身の授業改善はもちろんのこと、家庭と連携して、効果的な学習方法や計画的な学習習慣の確立を目指すことが必要だということがわかった。

以上の点ならびに学校関係者評価を、次年度の学校経営方針や重点努力事項に活かし、井野中学校の強みや生徒の良さをさらに伸ばしながら、より一層信頼される学校づくりを推進したい。